



令和 7年 1月 14日

国立大学法人弘前大学

報道関係各位

国際標準「IS025554 高齢化社会－地域や企業等でウェルビーイングを推進するためのガイドライン」に弘前大学COI－NEXT拠点の取組が掲載

平素より本学の報道につきましては、格別のご配慮を賜り感謝申し上げます。

国立大学法人弘前大学 健康未来イノベーション研究機構では、文部科学省・国立研究開発法人科学技術振興機構による「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」の拠点として研究活動および社会実装活動を進めておりますが、この度、その青森県における取組が国際標準「IS025554 高齢化社会－地域や企業等でウェルビーイングを推進するためのガイドライン」に参考事例として掲載されました。

つきましては、取材、報道方についてご配慮賜りますようお願い申し上げます。

#### 記

#### 1. 国際標準「IS025554 高齢化社会－地域や企業等でウェルビーイングを推進するためのガイドライン」

ウェルビーイング重視社会への転換を促す健康づくり活動の国際標準として、高齢化先進国の日本が提案国となって、世界の地域や企業等で使えるガイドラインを定めたもので、2024年11月に初版が刊行されました。

当機構ではIS025554の検討段階より国内委員会に参画するとともに、先行事例の情報提供を行ってまいりました。

※IS025554の開発経緯と概要は経済産業省HPに掲載されています。

[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/health\\_management/pdf/001\\_s03\\_00.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/health_management/pdf/001_s03_00.pdf)

※IS025554は日本規格協会より入手可能です。

[https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsho\\_id=ISO+25554%3A2024](https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsho_id=ISO+25554%3A2024)

#### 2. IS025554における弘前大学COI－NEXT拠点取組の掲載

青森県における活動が参考事例として掲載されました。

※掲載箇所：Annex A (informative) ”Examples of promoting and managing wellbeing”／A.3 “Example of a framework for promoting and managing wellbeing in a municipality (multiple indicator case)” (7～10ページに掲載)

#### 【取材に関するお問い合わせ先】

|            |   |
|------------|---|
| ( 所 属 )    | 健康未来イノベーション研究機構                           |
| ( 役職・氏名 )  | 学長特別補佐/機構長(拠点長)/教授：村下公一<br>URA/特任助教：杉山美恵子 |
| ( 電話・FAX ) | 電話 0172-39-5538 ・ FAX 0172-39-5205        |
| ( E-mail ) | coi_info@hirosaki-u.ac.jp                 |